第一部 13:00-14:15

埼玉大学 沢田 和彦 教授

「日露交流都市物語」出版記念講演会

演題「横浜のロシア人
—1920 ～ 1930年代を中心に—」

「日露交流都市物語」（成文社）
江戸時代から昭和時代前半までの日露交流史上の事象と人物を取り上げ、関係する都市別に紹介。国内外の基本文献はもとより、日本正教会機関誌の記事、外事警察の記録、各地の郷土資料、ロシア語雑誌の記事、全国・地方紙の記事を利用し、多くの新事実を発掘していく。

沢田 和彦（さわだ・かずひこ）
1953 年大阪府生まれ。 早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。文学博士。 現在、埼玉大学教授。著書に『白系ロシア人と日本文化』、編著に『異郷に生きる—来日ロシア人の足跡』、共著に『異郷に生きる II —来日ロシア人の足跡』、『遥かなり、わが故郷—異郷に生きる III』、『異郷に生きる IV —来日ロシア人の足跡』、『異郷に生きる V —来日ロシア人の足跡』（いずれも成文社）、『埼玉大学教養学部 リベラル・アーツ叢書 5　ポーランドの民族学者　ブロニスワフ・ピウスツキの生涯と業績の再検討』（埼玉大学教養学部・文化科学研究科）など。

著者
サインセール
実施予定！

第二部 14:30-16:30

パスハ祝賀 ティーパーティー

- 横浜ハリストス正教会・
  グリゴリイ 水野 宏 神父によるセレモニー
- イースターエッグの彩色
- ティーパーティー
  メニュー：「クリーチ」（復活大祭の菓子パン）、「パスハ」（復活大祭のレアチーズケーキ）、「カーシャ」（ロシアのお粥）、菓子、紅茶（予定）

パスハ

「パスハ」とは？
イエス・キリストの復活を記憶する復活大祭＝パスハは東方正教会における最大の祭日。現在は春分の後の満月の次の日曜日（主日）に行われます。2014 年の復活大祭はグレゴリオ暦の 4 月 20 日。その後 1 週間は光明週間となり、ロシアでは宗教に関わりなく日本のお彼岸やクリスマスのような感覚で祝われます。パスハの名はユダヤ教の「過ぎ越しの祭り（パサハ）」に由来し、災難、罪、死から逃れることを意味します。

С Праздником Светлой Пасхи !

春の訪れを祝う ロシアの復活祭

「パスハ」

2014 年 4 月 27 日（日）

27 апреля 2014г. 13:00-16:30

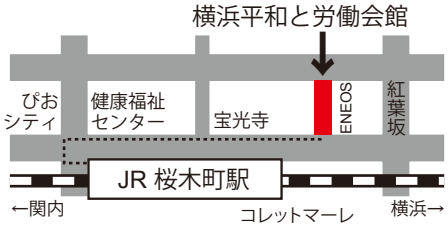
横浜平和と労働会館 2 階 音楽センター

- 定員：先着 60 名（要予約）　■ お申し込み期限：4 月 24 日（木）
- 参加費：一般 2,000 円、会員・ユーラシア諸国出身者 1,500 円、中高生 1,000 円、小学生 500 円、未就学児無料
- お問い合わせ・お申し込み

NPO 法人 神奈川県日本ユーラシア協会

Tel/Fax 045-201-3714

E-mail eurask2@hotmail.co.jp



JR 根岸線桜木町駅・横浜市営地下鉄桜木町駅より徒歩 5 分

イースターエッグ豆知識
復活祭でゆで卵に彩色する習慣は、イエス・キリストの復活を信じなかったローマ皇帝ティベリウス（ネロ）が「キリストが復活するなら卵も赤くなるはずだ」と言ったところ本当に卵が赤くなり「実に復活」と応えた故事に由来しています。伝統的には玉ねぎの皮を用いて、血すなわち生命と死を象徴する赤に彩色されますが、様々な色や模様をつけたものもあります。

パスハのお菓子を一緒に作ってみませんか？

2014 年 4 月 26 日（土）12:15-18:30 ※パーティー前日です

ふりーふらっと野毛山（横浜市青少年交流センター）2 階料理室
（JR・市営地下鉄 桜木町駅徒歩約 15 分、京浜急行日ノ出町駅下徒歩約 10 分）

27 日のパーティーでいただくお菓子「クリーチ」「パスハ」などを教わりながら一緒に楽しく作りましょう。当日はエプロンと布巾をお持ちください。参加希望者は神奈川県日本ユーラシア協会事務局まで。

クリーチとイースターエッグ